

授業科目 精神看護学概論	区分・教育内容																																			
	専門分野Ⅱ 精神看護学																																			
授業担当者 佐藤 聡美	開講時期	単位	時間数																																	
	前期	1 単位	30 時間																																	
授業の目的 精神の発達と健康における諸問題を理解し、精神看護の意義と役割を学ぶ。																																				
授業の目標 1. 精神の発達と機能が理解できる。 2. 社会環境が精神の健康に及ぼす影響が理解できる。 3. 精神保健福祉サービスと法制度について理解できる。																																				
授業概要 精神の健康は環境の影響を受けやすい。この授業では、すべての人々の精神の発達と環境に対する精神の反応を学ぶ。また、精神障害者を取り巻く社会の変化と制度を知ることによって、精神看護の意義と役割を学習する。進行・内容はテキスト通りではないので、テキストは授業の補助として使用する。																																				
授業計画(進め方) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">1～2 回目</td> <td style="width: 45%;">1 章 なぜ精神看護学を学ぶのか(導入)</td> <td style="width: 40%;">こころの健康と障害</td> </tr> <tr> <td>3～4 回目</td> <td>2 章 こころの理解</td> <td>こころと環境</td> </tr> <tr> <td>5 回目</td> <td>3 章 人格の発達</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 回目</td> <td>4 章 各期の発達課題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 回目</td> <td>5 章 現代社会とこころの問題</td> <td>※筆記試験① 40 点</td> </tr> <tr> <td>8～9 回目</td> <td>1 章 集団との関係</td> <td>7 章 家族との関係</td> </tr> <tr> <td>10 回目</td> <td>9 章 倫理と人権</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 回目</td> <td>10 章 精神医療の歴史と看護</td> <td>※筆記試験② 30 点</td> </tr> <tr> <td>12～13 回目</td> <td>11 章 精神保健医療福祉の法制度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 回目</td> <td>地域での生活を支える</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 回目</td> <td>リエゾン精神看護</td> <td>※筆記試験③ 30 点 ※授業評価</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">予定が変更される場合があるが、※印の変更は事前に連絡する。</p>				1～2 回目	1 章 なぜ精神看護学を学ぶのか(導入)	こころの健康と障害	3～4 回目	2 章 こころの理解	こころと環境	5 回目	3 章 人格の発達		6 回目	4 章 各期の発達課題		7 回目	5 章 現代社会とこころの問題	※筆記試験① 40 点	8～9 回目	1 章 集団との関係	7 章 家族との関係	10 回目	9 章 倫理と人権		11 回目	10 章 精神医療の歴史と看護	※筆記試験② 30 点	12～13 回目	11 章 精神保健医療福祉の法制度		14 回目	地域での生活を支える		15 回目	リエゾン精神看護	※筆記試験③ 30 点 ※授業評価
1～2 回目	1 章 なぜ精神看護学を学ぶのか(導入)	こころの健康と障害																																		
3～4 回目	2 章 こころの理解	こころと環境																																		
5 回目	3 章 人格の発達																																			
6 回目	4 章 各期の発達課題																																			
7 回目	5 章 現代社会とこころの問題	※筆記試験① 40 点																																		
8～9 回目	1 章 集団との関係	7 章 家族との関係																																		
10 回目	9 章 倫理と人権																																			
11 回目	10 章 精神医療の歴史と看護	※筆記試験② 30 点																																		
12～13 回目	11 章 精神保健医療福祉の法制度																																			
14 回目	地域での生活を支える																																			
15 回目	リエゾン精神看護	※筆記試験③ 30 点 ※授業評価																																		
テキスト ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版																																				
参考書・指定図書																																				
評価の方法 授業内で筆記試験を 3 回行い、その合計点(100 点満点)で評価する 提出物の遅滞・未提出は減点とする																																				